

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-148990

(P2001-148990A)

(43)公開日 平成13年6月5日(2001.6.5)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 01 K 97/10

識別記号

F I

A 01 K 97/10

データコード(参考)

B 2 B 1 0 9

審査請求 未請求 請求項の数2 O.L (全4頁)

(21)出願番号

特願平11-339902

(22)出願日

平成11年11月30日(1999.11.30)

(71)出願人 399049682

平川 弘亀

山口県宇部市妻崎開作1112番地の8

(72)発明者 平川 弘亀

山口県宇部市大字妻崎開作1112番地の8

(74)代理人 100094215

弁理士 安倍 逸郎

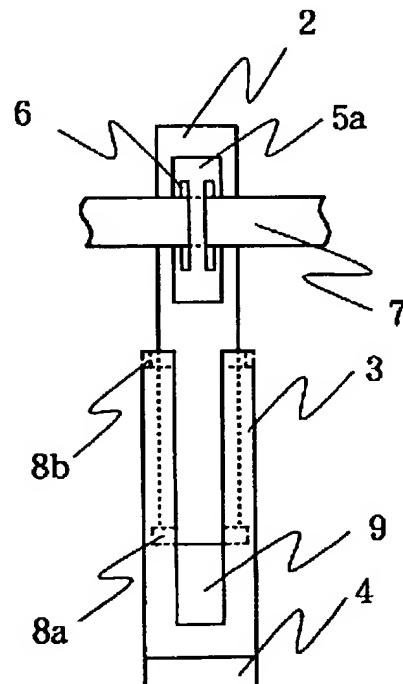
Fターム(参考) 2B109 CA02

(54)【発明の名称】釣り竿ホルダー

(57)【要約】

【課題】釣り竿を釣り人の身体の周りに簡単に保持する。釣り場での安全を確保する。エサの付け替えを簡単にできる。

【解決手段】釣り竿を定位置に保持するホルダーであって、釣り竿の竿尻側が挿入される有底の筒体1と、この筒体を身体に固定するためのバンド7とを備えている。筒体は長さが可変で、釣り竿の長さなどに応じて適宜調整ができる。釣り竿ホルダーは、釣り人本人の周辺部に竿を立てたまま餌の取り替え作業を行うことができる。釣り竿を置くスペースが不要となる。しかも、両手の自由度が大きくなり、餌の取り替えおよび針などの取り替え作業が容易となる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】釣り竿を定位置に保持するホルダーであって、

釣り竿の竿尻側が挿入される有底の筒体と、

この筒体を身体に固定するためのバンドとを備えた釣り竿ホルダー。

【請求項2】上記筒体は釣り竿の竿尻側の挿入長さを可変とすることができる請求項1に記載の釣り竿ホルダー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、身体にバンドを介して固定し、釣り竿を略垂直方向に保持して、餌の付け替えなどの作業を安全に行うための、釣り竿ホルダーに関する。

## 【0002】

【従来技術】防波堤、岩場などで釣りを行う場合、釣り竿にリールを装着し、繰いて竿の糸通しに糸を通し、リールより糸を出しながら竿を伸ばしてゆき、次に、竿を周辺に寝かせて、うきおよび針などを取付、その後針に餌を付け、竿を手にとって海に投げ入れている。餌などを取り替える場合も、同様に周辺部に竿を寝かせるか、あるいは、竿を脇に挟み、かつ腕で支えて、餌を付け替えていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】竿に釣り糸および針などをセットする場合もしくは餌を付け替える場合には、周辺に竿を安全に確保できる場所があるか否か、または、餌を安全に取り替える場所があるか否かを確認する必要がある。しかも、岩場またはテトラポットなどにおいては、付け替えのための場所に移動するのに危険が伴う場合もあった。防波堤などにおいては、大抵潮通しが良く、良くつれる場所は、限られておりそこに人が集中し、竿を置く場所の確保が困難な場合が多い。しかも、作業を中腰になって行う場合が多く、転倒の危険もあった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】この発明は、釣り場内の移動を少なくし、転倒などの危険を少なくする目的でなされたものである。請求項1に記載の発明は、釣り竿を定位置に保持するホルダーであって、釣り竿の竿尻側が挿入される有底の筒体と、この筒体を身体に固定するためのバンドとを備えた釣り竿ホルダーである。釣り竿ホルダーは、バンド(帶、ひも、ベルトなどを含む)で身体に筒体を固定し、この筒体に釣り竿の竿尻側を挿入する。この結果、釣り竿を容易に保持することができ、片手または両手でエサの付け替えなどを行うことができる。きわめて便利である。

【0005】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の上記筒体は、釣り竿の竿尻側の挿入長さを可変とした

2

釣り竿ホルダーである。釣り竿の長さ、釣り人の身長などに応じて筒体への挿入長さを変更することができ、より使い勝手が増すこととなる。

## 【0006】

【発明の実施の態様】この発明に係る釣り竿ホルダーは、釣り竿の竿尻側を挿入する有底の筒体と、この筒体を釣り人の身体または固定体に固定するバンドとを含むものである。また、その筒体への釣り竿の挿入長さを可変とするものである。この結果、釣り竿を保持して釣り場を移動する際の釣り人の動きなどでの安定性、安全性を高めることができる等の効果を発揮することができる。

【0007】上記筒体の形状は特に限定されない。断面が円形、楕円形、四角形、多角形など形状をしたものを持む。製作容易さおよび使い勝手を考慮すれば、円形、即ち全体の形状を円筒形とするのが好ましい。上記バンドを上記筒体に取り付ける方法としては、特に限定されたものでない。バンドは上記筒体に直接取り付けるようにも良いが、これでは、身体と上記筒体とがあまりにも密着しそぎるので、概略の字状、楕円弧状等形状をした保持体を設け、身体との距離を保つ方が望ましい。さらに、これらの筒体、バンドの素材などは限定されない。筒体はプラスチックなどの硬質材でも、皮革、布などの軟質材でもよい。

【0008】この保持体にバンドを取り付ける方法としては、バンドを接着剤またはビスなどを用いて固定しても良いが、上記保持体の概略垂直な面に貫通溝を設け、この溝にバンドを挿通するようにすることができる。これは、人体または固定体に装着する場合、上記筒体の位置を調整するが容易となるので、好ましい。設ける貫通溝としては2列以上設けた方が安定性が良くなる。また、2列の場合の貫通溝は、必ずしも図4に示すように並列に設ける必要はなく、図5に示すようにハの字または逆ハの字型に設けても良い。さらに、筒体の長さを可変とする手段も限定されることがない。後述のように2重の筒で構成してもよい。または、単一の筒の長さ方向に複数の孔を開け、孔にピンなどの底材を挿入してもよい。

【0009】図1～図4は、この発明に係る釣り竿ホルダーの一実施例を説明するための図である。これらの図によれば、1は長さが可変の筒体である。この筒体1は、所定径で円筒形の第1筒体2と、この第1筒体2にその軸方向に沿って移動自在に外嵌されている第2筒体3と、この第2筒体3の下端部に取り付けられ、これを閉止する底面材4により構成されている。第1筒体2には釣り竿の竿尻側が挿入可能とされている。また、第1筒体2の外面に固定した保持体5は、図2に示すように、全体の形状がコの字型の取っ手形状を形成しており、この垂直面5aには上下に並んで延びる2列の貫通溝6を有している。この貫通溝6の幅および長さは、特

3

に限定されたものでなく、この発明に係る釣り竿ホルダーを固定するためのバンド7が自由に挿通可能な大きさであればよい。なお、バンド7は図示していないバックルなどで身体に固定可能とする。また、バンド7を単なる結びひもで構成することもできる。このコの字型をした保持体5の連結端部5b、5cは上記第1筒体2の外側面に溶接、接着剤塗布などの手段で接続、固着するものとする。図1～図3において、8a、8bは、第1筒体2と第2筒体3の端部に設けられている抜け止め用ストッパーである。ストッパー8aが上昇してストッパー8bに当接して抜け止めとなる構成である。また、9は、第2筒体3が上下方向に移動する際に保持体5の連結端部5b、5cの干渉を避けるための切り欠き溝である。この溝9は、第2筒体3の寸法および連結端部5b、5cの取付方法などによっては、必ずしも設ける必要はない。さらに、10は第2筒体3を第1筒体2の所定の位置に固定するためのボルトであり、第2筒体3のネジ孔に螺入されている。このボルト10をねじ込むことにより、このボルト10の先端が第1筒体2の外側面を押圧とともに、第1筒体2と第2筒体3との一部分が面接触し、第2筒体3を第1筒体2の所定位置に保持することができる。

【0010】図3は、この発明に係る釣り竿ホルダーを身体に固定（装着）し、いすに腰掛けて餌などの取り替え作業を行う際の状態を示す模式図である。この発明に係る釣り竿ホルダーは、釣り人の身体に必ずしも装着する必要はない。つり場を移動する場合を除き、釣り人の近くのテトラポット、釣り竿を空中に保持可能なクーラーまたは釣り人が腰掛けている椅子等にバンドを介して装着しても良い。図3においては、この発明に係る釣り竿ホルダーの筒体1を伸ばしたままであると、腰掛ける際に、長すぎて邪魔になるので、筒体1を縮めて使用するものである。図示のように、餌などの取り替え作業を行う場合は、まず竿尻を筒体1に挿入し、釣り竿を概略垂直に立てると糸は、この糸に取り付けている鉤の自重により釣り人側に引き寄せられる。したがって、腰掛けている場所を立たずに容易に餌を取り付けることができる。また、釣り場を移動するような場合、筒体1を伸ば

4

し、挿入している竿の安定性を良くして移動すれば、両手が自由となり、岩場などにおいても、転倒の危険性が減少する。

【0011】図5には、この発明の他の実施例に係る釣り竿ホルダーを示している。この実施例にあっては、所定幅のバンド（布製、樹脂製など）を通すための貫通溝6を逆ハの字形状に形成したものである。この結果、バンド7の固定が確実になるとともに、バンド7を溝に沿って移動することが容易になる。

10 【0012】

【発明の効果】この発明に係る釣り竿ホルダーは、釣り人本人の近接して釣り竿を立てたまま餌の取り替え作業を行うことができるので、釣り竿を置くスペースが不要となる。しかも、両手の自由度が大きくなり、餌の取り替えおよび針などの取り替え作業が容易となる。また、釣り場を移動するような場合、筒体を伸ばし、挿入している竿の安定性を良くして移動すれば、両手が自由となり、岩場などにおいても、転倒の危険性が減少する等の優れた効果を有する。

20 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例に係る釣り竿ホルダーを示す正面図である。

【図2】この発明の一実施例に係る釣り竿ホルダーを示す側面図である。

【図3】この発明の一実施例に係る釣り竿ホルダーに釣り竿の竿尻側を挿入し釣り人に装着した際の状態を示す模式図である。

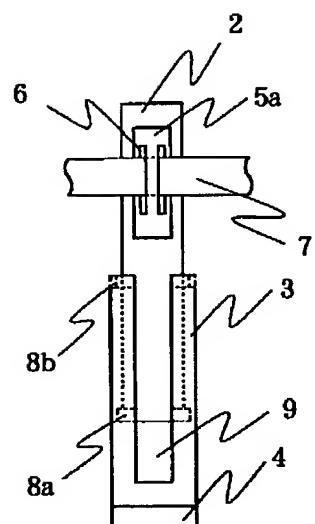
【図4】この発明の一実施例に係る釣り竿ホルダーのベルト挿通する貫通溝を保持体に設けた状態を示す正面図である。

【図5】この発明の他の実施例に係る釣り竿ホルダーの保持部に設ける2列の貫通溝を示す正面図である。

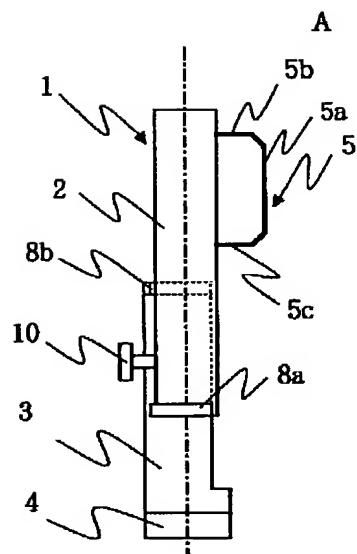
【符号の説明】

- 1：筒体、
- 2：第1筒体、
- 3：第2筒体、
- 5：保持体、
- 7：バンド。

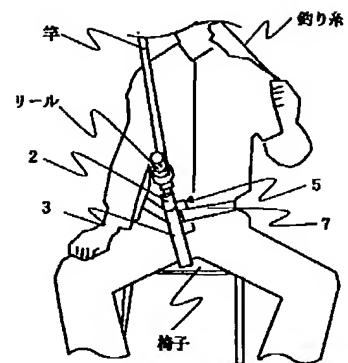
【図1】



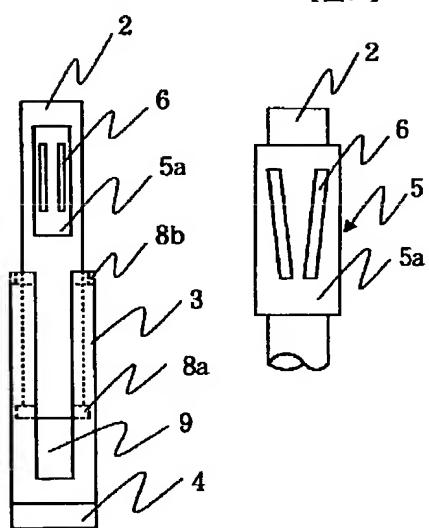
【図2】



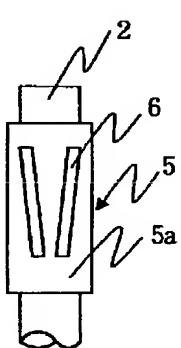
【図3】



【図4】



【図5】



PAT-NO: JP02001148990A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001148990 A  
TITLE: HOLDER FOR FISHING ROD  
PUBN-DATE: June 5, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME HIRAKAWA, HIROKI COUNTRY N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME HIRAKAWA HIROKI COUNTRY N/A

APPL-NO: JP11339902

APPL-DATE: November 30, 1999

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fishing rod holder which can simply hold a fishing rod around the body of a fisherman, ensure safety at a fishing place and simplify the exchange of a bait.

SOLUTION: This fishing rod holder that is used for holding a fishing rod at a constant position and is provided with a bottomed cylinder 1 into which the butt side of the fishing rod is inserted and with a band 7 for fixing the cylinder to the body of a fisherman. Therein, the length of the cylinder can be changed and suitably adjusted in response to the length of the fishing rod. The fishing rod holder permits a fisherman to exchange a

bait in a state that  
the fishing rod is stood at a place around the fisherman  
himself. A space to  
place the fishing rod is not necessary. Further, the  
freedoms of both the  
hands of the fisherman can be enlarged to facilitate works  
for exchanging the  
bait and for exchanging a fishing hook and so on.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

DERWENT-ACC-NO: 2001-436338

DERWENT-WEEK: 200147

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fishing rod holder has cylinder that  
is used to receive the bottom end of a fishing rod, such  
that cylinder is fixed to body using strap

PATENT-ASSIGNEE: HIRAKAWA H[HIRAI]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0339902 (November 30, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	
LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2001148990 A	004	June 5, 2001
		A01K 097/10
		N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2001148990A	APPL-DATE	
1999JP-0339902	N/A	
	November 30, 1999	

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001148990A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A cylinder is used to receive the bottom end of a fishing rod. The cylinder includes a first cylinder section (2) and a second cylinder section (3). The cylinder is fixed to the body using a strap (7).

USE - Used for fishing rod.

ADVANTAGE - Enables simply holding the fishing rod in the surroundings of the fishing person's body. Ensures safety in the fishing

place. Eliminates  
necessity of providing a space for placing the fishing rod.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the front  
elevation view of the  
fishing rod holder.

First cylinder section 2

Second cylinder section 3

Strap 7

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: FISH ROD HOLD CYLINDER RECEIVE BOTTOM END FISH  
ROD CYLINDER FIX  
BODY STRAP

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-323356